

を世界遺産に!

文化の森、上野公園

歴史ある貴重な建物がいっぱい

国立西洋美術館もそのひとつ

フランス人建築家ル・コルビュジエ

彼が設計した日本でただひとつの建物

国立西洋美術館

現在、世界遺産を目指しています



私が作った国立西洋美術館を
世界遺産にしようと頑張っているんだ。
みんなも応援してね!



世界遺産ってどんなもの?

地球上には、世界の人々が大切に守り、引き継いできたすばらしい自然や文化財などがあります。世界遺産とは、これら世界の人々の共通の宝物として未来へ確実に引き継いでいくためにつくられた仕組みです。

世界遺産に登録されるためには、ユネスコ※の「世界遺産一覧表(リスト)」に記載される必要があります。

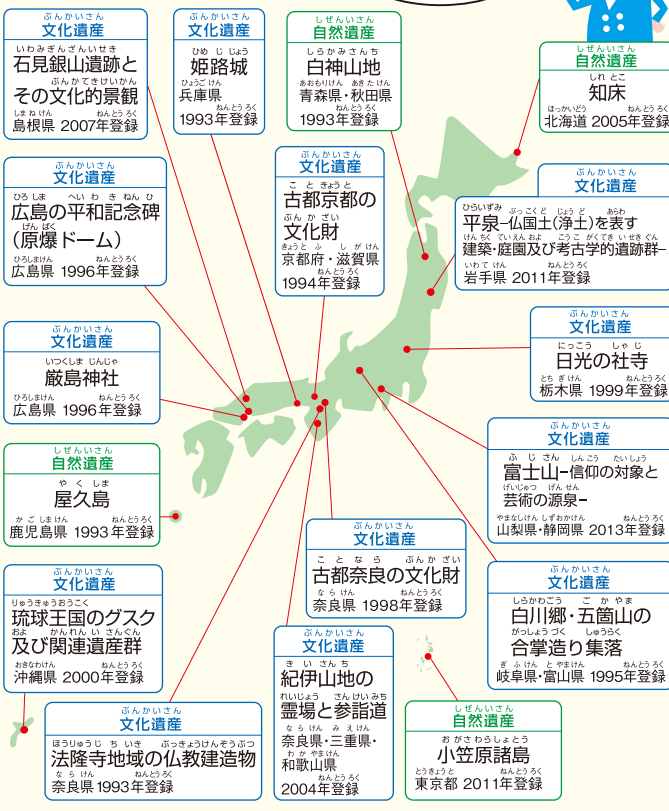
※ユネスコとは、世界中の国が教育・科学・文化を通じて協力をする国際連合の専門機関。

世界遺産の分類

- 文化遺産**
建物や遺跡、城、寺院、古墳など
- 自然遺産**
地形や風景、貴重な動植物の生息地など
- 複合遺産**
自然遺産と文化遺産の両方

日本の世界遺産

世界遺産は日本に現在17件!



編集・発行 平成25年8月 台東区世界遺産登録推進室
〒110-8615 東京都台東区東上野4-5-6
TEL 03(5246)1111 FAX 03(5246)1339
<http://www.city.taito.jp/sekaiisan/>

ル・コルビュジエの夢が叶った

国立西洋美術館

めざせ、世界遺産登録!



台東区

コルビおじさん

国立西洋美術館ってどんな建物?



1910~20年代にかけて、当時、川崎造船所社長であった松方幸次郎は日本に西洋美術を紹介するため、ヨーロッパ各地で絵画、彫刻等の美術作品を収集しました。これらは「松方コレクション」と呼ばれています。

第二次世界大戦後、一時フランス政府の所有となった松方コレクションは、1953(昭和28)年、新しい美術館をつくることを条件に日本へ返還されることになりました。

新美術館の設計には、世界的な建築家ル・コルビュジエが選ばれました。コルビュジエは、1955(昭和30)年11月に日本を訪問し、上野公園内の建設予定地を調査しました。コルビュジエがつくった設計図をもとに、コルビュジエの弟子である前川國男、坂倉準三、吉阪隆正の3人が協力して美術館の建設を進めました。

そして、1959(昭和34)年3月に美術館は完成し、同年6月10日に開館しました。国立西洋美術館は、2007(平成19)年国の重要文化財に登録された貴重な建物です。

ル・コルビュジエ Le Corbusier 1887-1965

本名: シャルル・エドゥアール・ジャンヌレ (Charles Edouard Jeanneret)
生まれ: 1887年10月6日 スイス、ラ・ショ=ドゥ=フォン (のちに、フランス国籍となる)
※「ル・コルビュジエ」という名前は、雑誌「エスプリ・ヌーヴォー」の中で用いたペンネーム



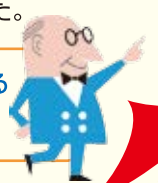
©国立西洋美術館

ル・コルビュジエは、時計職人である父親の家業を継ぐため、ラ・ショ=ドゥ=フォンの美術学校で彫刻や彫金を学びました。在学中、先生であるシャルル・レブラトニエから建築を学ぶことをすすめられ、建築家として人生の一步を踏み出します。

その後、活動の場所をフランス・パリに移し、数多くの建物を設計しました。コルビュジエは、建築界のリーダーの一人として、20世紀の建築や都市計画に大きな影響を与えました。

コルビュジエは建築家として活動したほかに、絵画、彫刻などの芸術作品の制作や家具のデザイン、執筆活動などにも取り組み、多くの作品を残しました。

わたしの設計した国立西洋美術館がある
上野公園へ行ってみよう!!



上野の森を探検してみよう!

上野の森には
素晴らしい建物が
たくさん
あるんだよ。

② 上野東照宮
1627(寛永4)年、徳川家康を祀るための神社として藤堂高虎により創建された。本殿、唐門、拝殿などの社殿は重要文化財になっている。

① 東京文化会館
1961(昭和36)年につくられた日本初の本格的なコンサートホール。ル・コルビュジエの弟子である前川國男が設計した。

③ 東京都美術館
1926(大正15)年に東京府立美術館として設立された。現在の建物は、建築家前川國男が設計し、1975(昭和50)年につくられた。

④ 旧東京音楽学校奏楽堂
1890(明治23)年につくられた日本初の木造の洋式音楽ホール。日本の音楽教育に重要な役割を果たした建物です。

⑤ 黒田記念館
1928(昭和3)年、洋画家黒田清輝の作品を収蔵展示するためにつくられた建物。外壁は科学博物館と同様にスクラッチタイルを使用。

⑥ 旧因州池田屋敷表門
江戸時代末期につくられた鳥取藩池田家江戸屋敷の正門。1954(昭和29)年に現在地に移築。土日祝日は開門されている。

⑦ 寛永寺
1625(寛永2)年に徳川幕府の祈禱寺(願い事をする寺)として建てられた。江戸時代、上野公園のほぼ全域が寛永寺の土地でした。現在の根本中堂は、1879(明治12)年に川越喜多院の本地堂を移築したもの。

① 東京文化会館
1961(昭和36)年につくられた日本初の本格的なコンサートホール。ル・コルビュジエの弟子である前川國男が設計した。

② 上野東照宮
(1911年重要文化財)
1627(寛永4)年、徳川家康を祀るための神社として藤堂高虎により創建された。本殿、唐門、拝殿などの社殿は重要文化財になっている。

④ 旧東京音楽学校奏楽堂
(1988年重要文化財)
1890(明治23)年につくられた日本初の木造の洋式音楽ホール。日本の音楽教育に重要な役割を果たした建物です。

⑤ 黒田記念館
(2002年登録有形文化財)
1928(昭和3)年、洋画家黒田清輝の作品を収蔵展示するためにつくられた建物。外壁は科学博物館と同様にスクラッチタイルを使用。

⑥ 旧因州池田屋敷表門
(1951年重要文化財)
江戸時代末期につくられた鳥取藩池田家江戸屋敷の正門。1954(昭和29)年に現在地に移築。土日祝日は開門されている。

⑧ 表慶館
(1978年重要文化財)
1908(明治41)年、後の大正天皇のご成婚を祝ってつくられた明治末期の代表的な洋風建築。緑色の大きなドームが特徴的。

① 東京文化会館
1961(昭和36)年につくられた日本初の本格的なコンサートホール。ル・コルビュジエの弟子である前川國男が設計した。

② 上野東照宮
(1911年重要文化財)
1627(寛永4)年、徳川家康を祀るための神社として藤堂高虎により創建された。本殿、唐門、拝殿などの社殿は重要文化財になっている。

③ 東京都美術館
1926(大正15)年に東京府立美術館として設立された。現在の建物は、建築家前川國男が設計し、1975(昭和50)年につくられた。

④ 旧東京音楽学校奏楽堂
(1988年重要文化財)
1890(明治23)年につくられた日本初の木造の洋式音楽ホール。日本の音楽教育に重要な役割を果たした建物です。

⑥ 旧因州池田屋敷表門
(1951年重要文化財)
江戸時代末期につくられた鳥取藩池田家江戸屋敷の正門。1954(昭和29)年に現在地に移築。土日祝日は開門されている。

⑨ 東京国立博物館本館
(2001年重要文化財)
1937(昭和12)年につくられた建物で、鉄筋コンクリート造りに日本古来の瓦屋根をのせた外観は見ごたえ十分。

① 東京文化会館
1961(昭和36)年につくられた日本初の本格的なコンサートホール。ル・コルビュジエの弟子である前川國男が設計した。

① 東京文化会館
1961(昭和36)年につくられた日本初の本格的なコンサートホール。ル・コルビュジエの弟子である前川國男が設計した。

③ 東京都美術館
1926(大正15)年に東京府立美術館として設立された。現在の建物は、建築家前川國男が設計し、1975(昭和50)年につくられた。

⑩ 国立科学博物館
(2008年重要文化財)
1930(昭和5)年につくられた総合科学博物館。上空から建物を見ると飛行機の形をしている。外壁には当時、流行したスクラッチタイルを使用。

⑧ 表慶館
(1978年重要文化財)
1908(明治41)年、後の大正天皇のご成婚を祝ってつくられた明治末期の代表的な洋風建築。緑色の大きなドームが特徴的。

⑩ 国立科学博物館
(2008年重要文化財)
1930(昭和5)年につくられた総合科学博物館。上空から建物を見ると飛行機の形をしている。外壁には当時、流行したスクラッチタイルを使用。

観光案内センター
観光案内板
東西めぐりんバス停留所

JR 上野駅

公園口

大噴水

交番

東洋館

寛永寺日本坊表門(黒門)

日本学士院

パンダ橋

上野動物園 東園

東京芸術大学大学美術館

国際子ども図書館

表慶館

黒田記念館

寛永寺

上野の森美術館

日本芸術院

国立西洋美術館

国立科学博物館

東京国立博物館本館

旧東京音楽学校奏楽堂

旧因州池田屋敷表門

寛永寺清水観音堂

上野の森美術館

日本芸術院

国立西洋美術館

国立科学博物館

東京国立博物館本館

旧東京音楽学校奏楽堂

旧因州池田屋敷表門

寛永寺清水観音堂

上野の森美術館

日本芸術院

国立西洋美術館

国立西洋美術館のヒミツ

なぜ、国立西洋美術館は上野公園にできたのか?

1953(昭和28)年、フランスで保管されていた松方コレクションが日本に返還されることが決まりました。日本政府は、美術品を保管・展示するための美術館を探しますが、なかなか見つかりません。そうした中、日本を訪問したルーブル美術館のサール館長が、「美術館は新しく、場所は東京の上野であること」を希望しました。これがきっかけとなり、1954(昭和29)年、上野公園内の凌雲院というお寺の跡地に新美術館をつくることになりました。

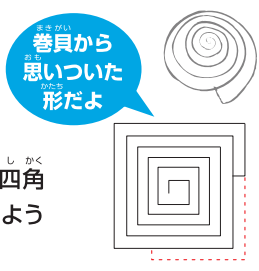


完成した頃の国立西洋美術館の様子(1960年頃) ©国立西洋美術館

発見、建物のふしぎ

**“限りなく”
増築できる美術館**

美術館に作品が増えても外側に四角い部屋をぐるぐる増やしていけるように考えたのだよ。



**“迷路”
のような展示室**

2階展示室は、角を曲がるとまた同じような景色が現れる。まるで迷路みたいだね。



©国立西洋美術館

**“浮かんで”
いるようなピロティ**

美術館入口部分。建物を柱で持ち上げているように見える。コルビュジエの建築の特徴だ。



©国立西洋美術館

**“太陽の光”
をとりいれた美術館**

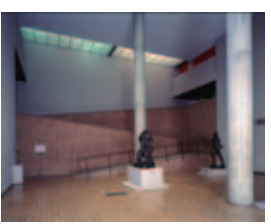
コルビュジエは太陽の光を好んだ。本館中央の天井の三角窓からは陽光が差し込むようになっているよ。



©国立西洋美術館

**“ジグザグ”
に上るスロープ**

スロープでホールから2階の展示室にゆるやかに上っていくんだ。彫刻を色々な角度から楽しめるよ。



©国立西洋美術館

**“屋上庭園”
も建物の大事なポイント**

現在は立ち入り禁止だが、昔は植物もあって、気持ちのいい場所だったみたいだね。



©国立西洋美術館